

# 横浜 I R の方向性

横浜市

あらたびに、あたらしい

Find Your YOKOHAMA

City of YOKOHAMA



## はじめに

- ▶ 1859年の開港を機に、海外諸国との交易の中心となった横浜は、近代日本の成長をけん引する国際的な港湾都市として、目覚ましい発展を遂げてきました。
- ▶ その後の震災や戦災などの困難な状況においても、個性ある自立都市を目指す熱意と気概を持ち、みなとみらい21をはじめとする事業を着実に進め、人口375万人、最大の基礎自治体として、日本有数の経済都市に成長してきました。
- ▶ 現在、横浜は開港からの異国情緒の残る山下公園、元町、中華街や、若者に人気の みなとみらい21地区などの都心臨海部を中心に、日本有数の観光地として多くの人で賑わっています。また、パシフィコ横浜では、多くの国際会議などが開かれ、「グローバルMICE都市」としての地位を築いてきました。



異人商館での交流



(C) Photo by Hideo MORI

みなとみらい21地区



元町商店街



中華街



パシフィコ横浜提供

※ **都心臨海部**：「横浜市都心臨海部再生マスタープラン」に位置づけられた横浜駅周辺地区、みなとみらい21地区、関内・関外地区、山下ふ頭周辺地区、東神奈川臨海部周辺地区を含む地区の総称です。

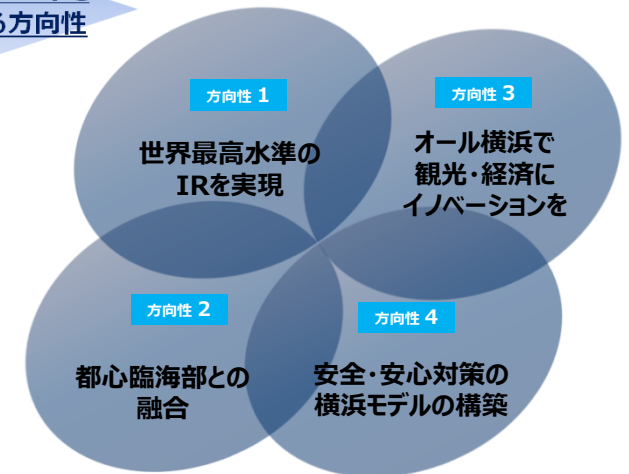
## 基本コンセプト

基本コンセプト

### 『横浜IR』では、

- ▶ 世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー(技術)を駆使した未来の街を、これまで築き上げてきた都心臨海部※の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、
- ▶ 相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド(混成)に創造し、
- ▶ 横浜の観光・経済にイノベーション(革新)をもたらしていきます。
- ▶ そして、横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう!日本に行くなら横浜に行ってみよう!
- ▶ そう思ってもらえる“横浜イノベーションIR”を目指していきます。

基本コンセプトを実現する方向性



横浜のさらなる飛躍と  
将来にわたる市民の豊かな暮らしのために

# 横浜イノベーションIR – 横浜を世界から選ばれるデスティネーション(目的地)へ

## 基本コンセプト 方向性1 世界最高水準のIR

### MICE施設 (国際会議場・ 展示施設等)



### 魅力増進施設



### 送客施設



### カジノ



### 一体的に整備・運営

### エンターテインメント施設 レストラン・ ショッピングモール



### 多彩なホテル群



### 民設・民営

- ▶ カジノを行える区域の面積の上限は施設全体の延床面積の3%
- ▶ 国等で管理・監督
- ▶ 世界最高水準の規制

- ▶ 横浜IRでは、ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、幅広い客層が楽しめる非日常的で印象的な空間を有する都市型リゾートを実現し、

世界の人々が日本に行ってみよう！  
日本に行くなら横浜に行ってみよう！

と思われる世界最高水準のIRを実現します。

- ▶ 周辺地域との一体的な観光振興により、“横浜IR”から市内・県内はもとより日本各地の魅力を発信し、送客することができる

日本のゲートウェイ(玄関口)を目指します。

# 横浜イノベーションIR –横浜を世界から選ばれるデスティネーション(目的地)へ

## 基本コンセプト 方向性2 都心臨海部との融合

### まちづくりのコンセプト

- 1 “横浜 I R”を都心臨海部と一体的に整備し、融合
- 2 21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観形成
- 3 環境、防災、最先端技術を駆使したスマートシティ、ユニバーサルデザインなど  
“ 未来の街のショーケース ”



# 横浜イノベーションIR – 横浜を世界から選ばれるデスティネーション(目的地)へ

## 基本コンセプト 方向性2 都心臨海部との融合

### 緑豊かな水際のある、次世代スマートシティの実現

最先端技術をあらゆる方面で活用することで、水際と緑が融合し効率的で持続可能な次世代スマートシティを実現します。

### 新たな緑と水際が融合したエリアの創出

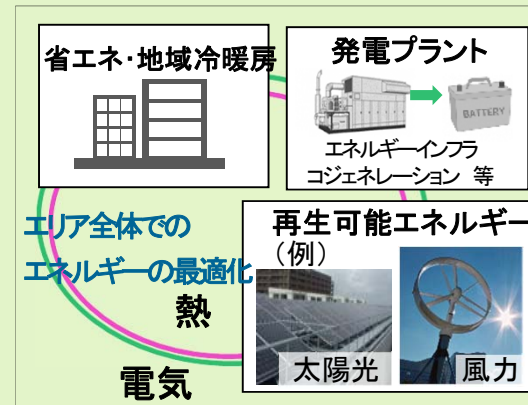


PHOTO by Hideo MORI



横浜港の水際を形成する既存の街並みや山下公園と連続した、いつでも誰でも楽しめる、開放的な、緑豊かなオープンスペースと水際のプロムナードを形成

### エリア全体でのエネルギーの最適化



省エネ、再生可能エネルギー等、最先端技術の導入と効率化により、エリア全体でのエネルギーの最適化を図ります。

### 持続可能な循環型都市エリアの実現



先進的な環境配慮建築物とすることなど、脱炭素・循環型社会を構築する持続可能なマネジメントの実現

### 次世代交通システムの導入



新たな人やモノの流れを創出する次世代交通システムの導入

## 基本コンセプト 方向性2 都心臨海部との融合

### 災害・感染症等のリスクに強くなやかで、自立的なまちづくり

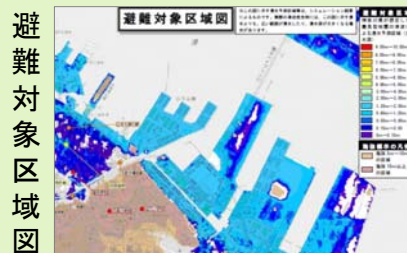
地震や津波・高潮などの災害に対して高い防災機能を持ち、自立したエネルギー供給を確保するなど、来街者の安全確保に加え周辺地域の市民にとっても安全・安心な防災の拠点となる、災害に強くなやかで自立的なまちづくりを実現します。また、感染症や不測の事態などに対して、実行性のある危機管理計画を策定し、緊急事態に備えます。

#### 災害時等の来街者のための安全・安心の確保



地震や津波などの災害発生時においても来街者が安全・安心に過ごすことができる、高い防災機能を有するエリアを目指します。

#### 津波・高潮に対応したまちづくり



津波・高潮に対しても、安全な避難を可能とする強くなやかなまちづくりを目指します。

#### 災害時には周辺地域を含む防災の拠点



区域内だけでなく、周辺地域からの被災者等の一時滞在・避難の受け入れや物資輸送等あらゆる面で高い防災機能を持つエリアを目指します。

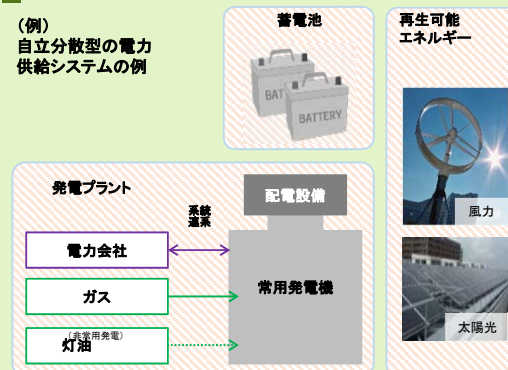
#### 歩行者空間の基本は2階レベルで形成

2階レベルの歩行者動線を構築することで、災害時における浸水に対しても安全で円滑な歩行者の退避を実現します。



#### 災害時にも安定かつ自立したエネルギー供給

(例) 自立分散型の電力供給システムの例



災害時バックアップを持つ電力供給システムや分散型電源等の導入により、平常時だけでなく災害時にも自立した電力供給を確保します。また、地震や高潮などの災害時にも安定して稼働する構造や配置とします。

#### 感染症対策・不測の事態等への実効性ある対策

感染症や不測の事態等に対しても、実効性のある対策計画を策定し、緊急時にも適切に対応します。



## 基本コンセプト 方向性3 オール横浜で観光・経済にイノベーションを

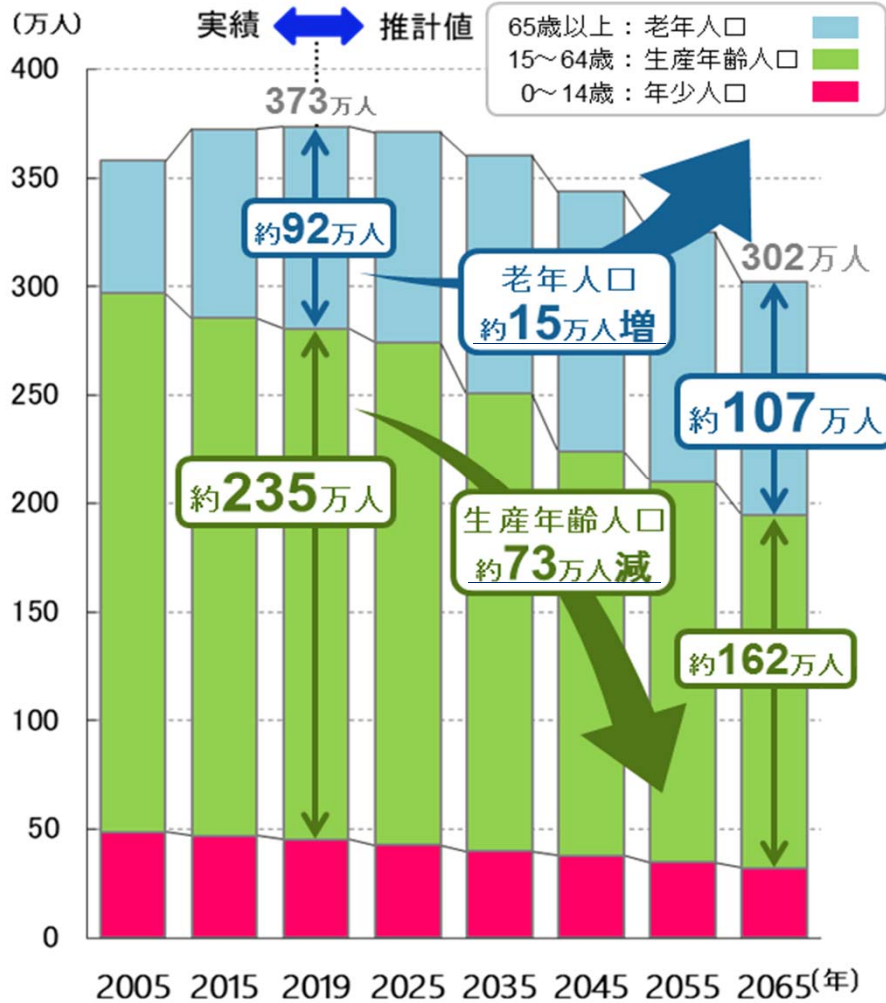
### オール横浜での観光MICE推進体制





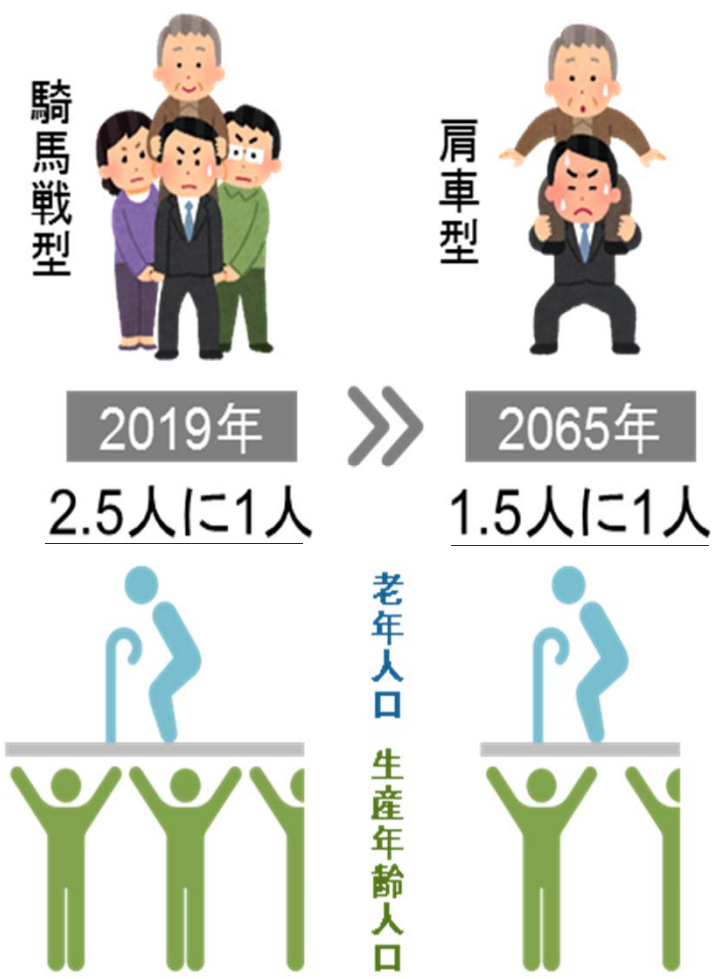
## 基本コンセプト 方向性3 オール横浜で観光・経済にイノベーションを

横浜市の人口推計



- 経済活力の低下
- 個人市民税の減少
- 社会保障費の増加

人口構成の推移



出典：横浜市中期4か年計画2018-2021

# 横浜イノベーションIR – 横浜を世界から選ばれるデスティネーション(目的地)へ

## 基本コンセプト 方向性3 オール横浜で観光・経済にイノベーションを

### 観光の振興

- 訪日外国人を含む観光・MICE客増加
- 長期滞在による観光消費額増加
- IR来訪者が市内・県内はもとより全国を周遊 等

- インバウンドを含むIRへの訪問者数  
2,100万人～3,900万人/年(国内観光客割合:67～80%)
- IR区域内での消費額  
4,900億円～6,900億円/年

### 地域経済の振興

- 建設時の大規模投資
- 周辺地域への宿泊・飲食客の増加  
(関内・関外地区、MM21地区、横浜駅など)
- 食材、物品、サービス等の市内調達機会の増加  
(横浜ブランド農産物、花木、畜産・加工品、リネン他)
- 雇用の創出、観光MICE人材育成
- 国内外からの多職種が多様な人的交流の活性化
- MICEビジネス機会による新産業創出 等

- 経済波及効果(間接効果含む)※  
建設時:1兆1,000億円～1兆6,000億円  
運営時:7,400億円～9,700億円/年  
《参考》MM21地区建設投資額:約2兆625億円(S58～H28)
- 雇用創出効果  
運営時:91,000人～119,000人/年

### 財政改善への貢献

- 納付金収入、入場料収入
- 法人市民税、固定資産税、都市計画税 等

- 地方自治体(横浜市)への増収効果  
860億円～1,000億円/年  
※内訳:納付金収入、入場料収入、法人市民税、固定資産税、都市計画税  
《参考》令和元年度 法人市民税:586億円

- これらの財源は、IR整備による効果を最大限発揮させるための施策やIRを構成する施設の一つであるカジノ施設の設置・運営に伴う、有害な影響を排除するための施策等にあてていきます。
- また、将来見込まれる税収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新など、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。

- **効果(数値)については、事業者から提供された情報です。**  
※印の数値については、それらの情報を基に、委託先の監査法人が整理・確認したものです。
- **なお、これらの数値は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の数値となっており、今後、追加で実施するRFCで影響を確認の上、区域整備計画を作成するまでに明確化します。**

## 基本コンセプト 方向性3 オール横浜で観光・経済にイノベーションを

- 1 観光客増・MICE参加者増 (宿泊者増)
- 2 IR利用者が市内・県内を周遊  
コンシェルジュが観光、体験、買い物をコーディネート
- 3 周辺地域の既存の魅力や資源を磨き上げ相乗効果によって賑わいUP
- 4 長期滞在によって観光消費額UP
- 5 広がる経済効果  
ビジネスチャンス拡大、新産業創出、雇用機会の増等
- 6 観光客の満足度向上に向けた再投資  
施設、サービス
- 7 魅力向上によるさらなる観光客増  
リピーターの増

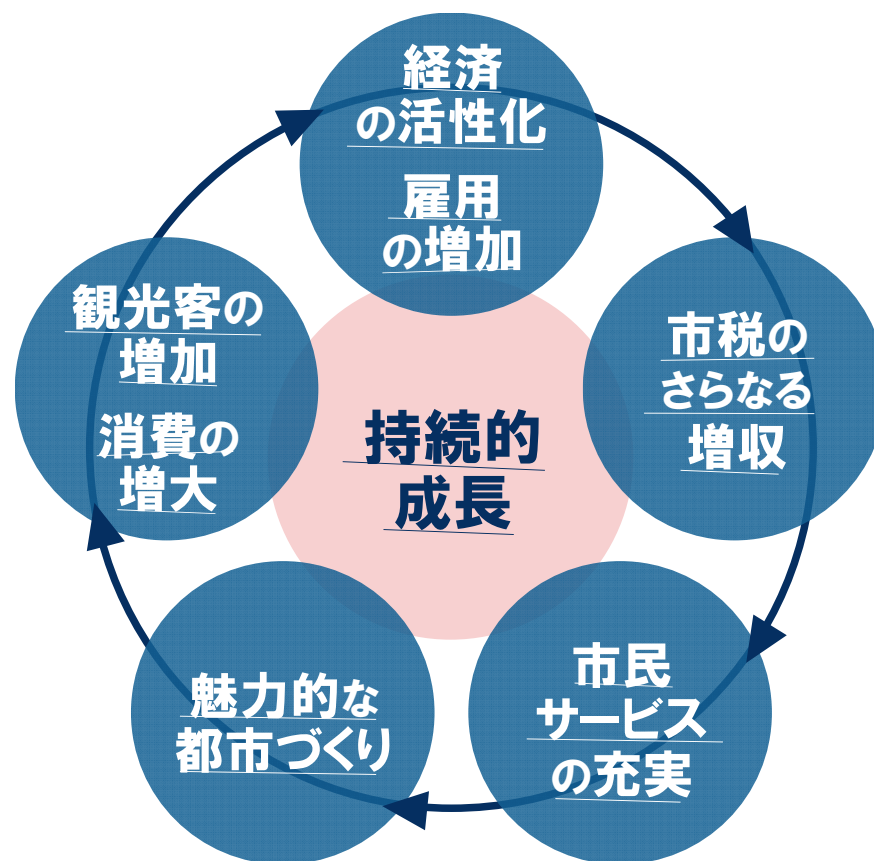
拡がり循環する効果

将来にわたる

市民の豊かな暮らし

魅力ある都市

横浜のさらなる飛躍



## 基本コンセプト 方向性4 安全・安心対策の横浜モデルの構築

### 治安対策などの懸念事項への取組

#### 【治安対策】

- ▶ 警察との連携
- ▶ 区域内外の防犯カメラ設置
- ▶ 警備スタッフの配置・巡回

#### 【反社会的勢力の関与への対策】

- ▶ 徹底的な調査による排除
- ▶ カジノ入場規制

#### 【青少年への悪影響対策】

- ▶ マイナンバーカードによる入場規制・夜間巡回の実施

#### 【マネーロンダリング(犯罪資金洗浄)対策】

- ▶ 一定額以上を換金した際の届出
- ▶ カジノのチップ持ち出し、譲渡禁止
- ▶ 顧客の本人確認の徹底



**立入禁止**



### 横浜市の依存症対策への取組

これまで国が示す依存症対策総合支援事業やアルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法等に基づき事業を進めていますが、さらに、横浜市では依存症の方を増やさないように次の4つの対策を徹底して進めていきます。

#### 【市の総合的な依存症対策】

- ① 依存症への総合的な取組
- ② 予防教育の実施 (高校保健体育での啓発など)
- ③ 事業者や研究・専門機関との研究
- ④ 調査による実態把握 (令和元年度3,000人対象)

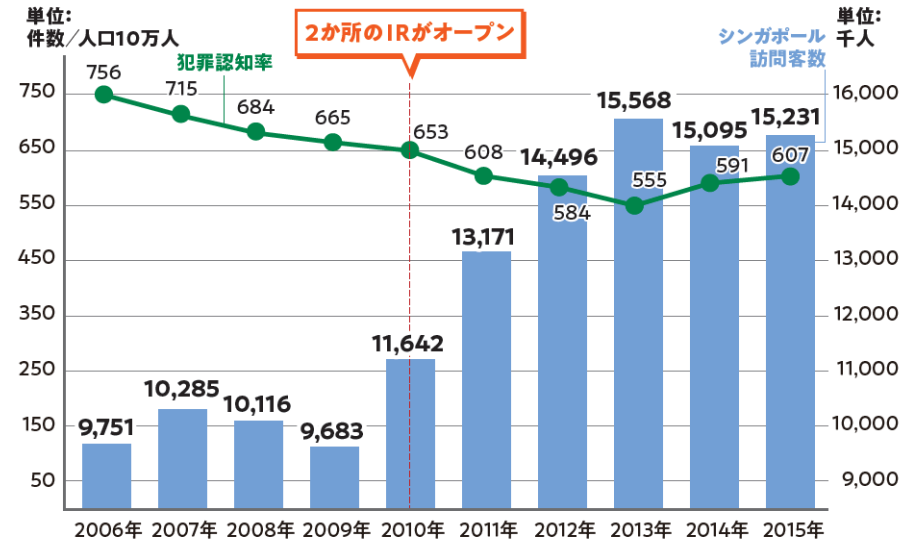
#### 【IR整備法関連】

- ▶ 日本人等への7日間で3回迄、28日間で10回迄の入場回数制限
- ▶ 広告・勧誘の制限やカジノ内ATM設置禁止など施設内制限
- ▶ 本人・家族の申告による入場制限
- ▶ 日本人等への24時間毎に6,000円の入場料

#### 【事業者独自の依存症対策】

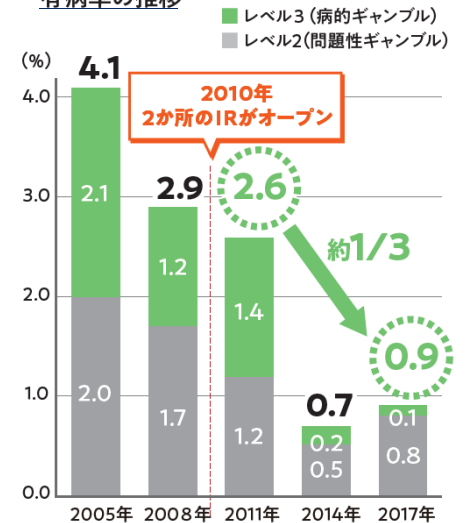
- ▶ 顔認証やAI等による入場制限・モニタリング
- ▶ 訓練された従業員の巡回、声掛け

### シンガポールの訪問客数と犯罪認知率の推移



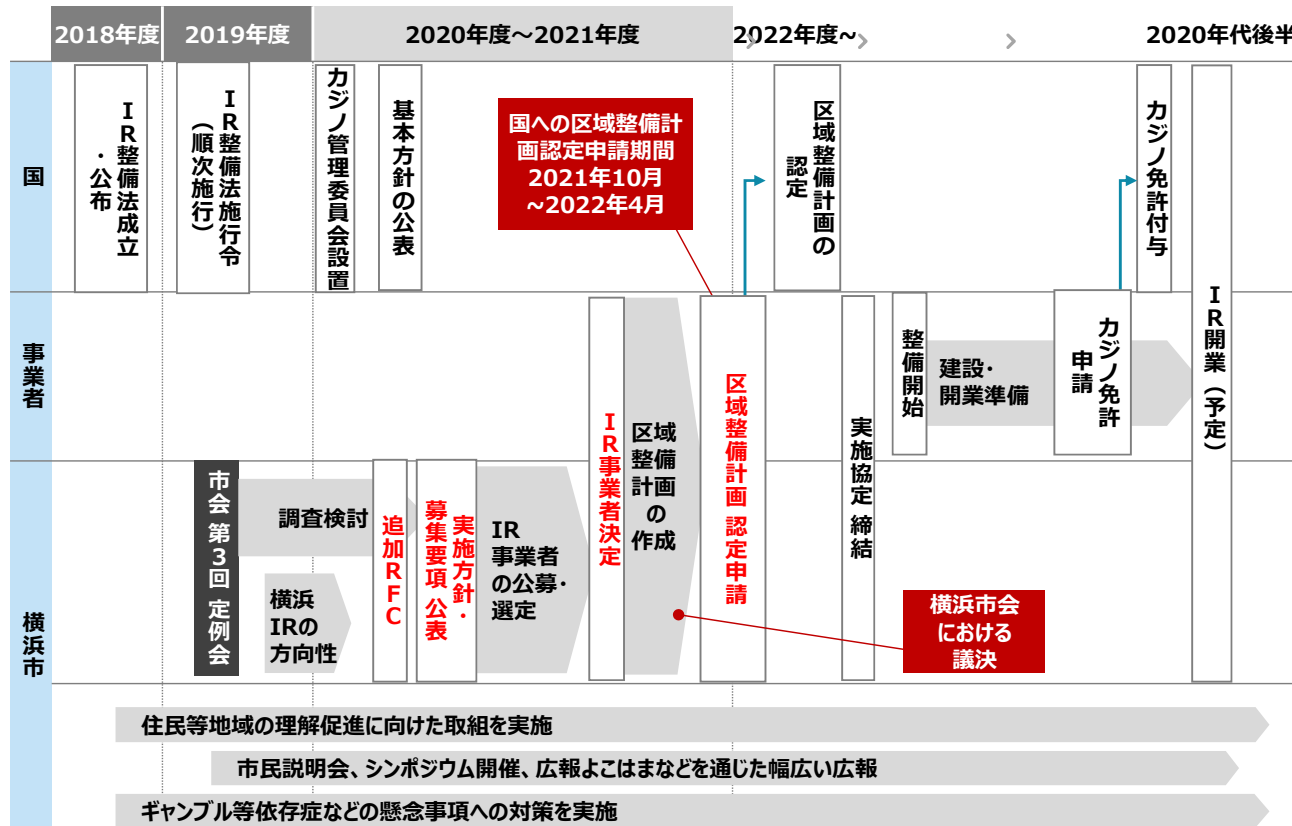
出典: 特定複合観光施設区域整備推進会議資料より作成  
※犯罪認知率: 1年間で人口10万人あたりに発生した犯罪発生件数

### シンガポールのギャンブル依存症有病率の推移



カジノ施設への入退場者の管理が可能な入退場ゲートとキオスク端末

## スケジュール



横浜市としての詳細のスケジュールについては、現在、実施しているRFCや国の動向を踏まえ、検討していきます。

今後も実施方針の策定や事業者の決定などの機会を捉え、より具体化した施設計画、経済効果、懸念事項対策等について、説明会や広報よこはま、広報動画などを通じて、事業の節目ごとに、丁寧な説明を継続していきます。

## 基本方針の主な追加事項

- カジノ管理委員会の指摘や新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、以下の点について修正が加えられた。
  - ・IR区域・施設に係る安全や健康・衛生の確保
  - ・都道府県等によるギャンブル等依存症対策の充実
  - ・IR事業者等との接触ルールの策定
  - ・IR事業者のコンプライアンスの確保

## 区域整備計画の認定申請期間

- 変更前

2021年1月4日から2021年7月30日



- 変更後

2021年10月1日から2022年4月28日



ありがとうございました。